

令和6年度 此花区運営方針取り組み状況



此花区役所



「令和 6 年度此花区運営方針」

経営課題 1 防災・減災

経営課題 2 子ども

経営課題 3 福祉

経営課題 4 まちづくり・環境



Point

上記の 4 項目を重点的に取り組む主な経営課題と位置づけています。

課題認識	R 6 年度 主な戦略	R 6 年度 取り組み状況	現時点での評価
<p>災害時において、すべての区民がいのちを守れる行動をとれるよう支援する必要がある。</p>	<p>災害に備えて自分自身がとるべき防災行動計画をあらかじめ考える「マイ・タイムライン（わたしの防災行動計画）」の作成を促進・支援【新規】</p> <p>要支援者を対象に災害時の支援者選定を促し、個別避難計画の策定を推進</p>	<p>R 6 年度上半期に、此花区の自然災害の被害範囲を示すハザードマップ、津波避難ビル等を確認でき、水害用と地震用に分け、区民の状況に適した防災行動計画を作成できる「マイ・タイムライン」を策定。今後、「マイ・タイムライン」等を活用した防災講座を実施することなどにより、区民の方へ広く周知を実施</p> <p>優先度の高い避難行動要支援者（※）の個別避難計画の策定を推進（総件数316件） ※当区では「戸建て又はマンション等集合住宅の2階以下の者」かつ「単身で近隣に支援者がいない者」</p>	<p>令和6年度から「マイ・タイムライン」等を活用した防災講座を実施するなど、広く周知を始めたところであり、令和6年度中に10,000世帯以上の配布を目指して取り組む。</p> <p>優先度の高い避難行動要支援者の個別避難計画の策定率を令和6年度末までに70%（222件）以上の策定を目指して取り組む。（令和5年度末 50.6%（160件））</p>

経営課題 2 子ども

課題認識	R 6 年度 主な戦略	R 6 年度 取り組み状況	現時点での評価
<p>大阪市平均以下である区内児童・生徒の学力向上に向け、授業以外の学習時間を増加させることや、児童・生徒の理解度に応じた学習機会・内容を提供する必要がある。</p>	<p>児童・生徒の理解度に応じて提供している学習機会について、内容の充実を図る。導入したツールについて活用状況を進捗管理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・区内8小学校での単元テストの実施と、学期ごとに結果のフィードバックを実施している。 ・学習用一人一台端末の持ち帰りや、放課後補充学習等の実施により、授業以外での学習機会提供や自宅学習時間増に向けた取組を行う学校数を増やすよう働きかけている。 ・4月から課外学習事業「CoCoチャレ塾!」を、小学5・6年生対象に全小学校区で、中学生対象に1会場で実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各校で予定通り単元テストを実施し、結果分析を進めている。学校現場からの意見に基づき、R7年度は従前より一層活用しやすい内容の単元テストとなるよう仕様を検討している。 ・学習用端末の持ち帰りや放課後学習等の取組について、2学期時点での各校実施状況・課題確認を進めている。 ・課外学習事業「CoCoチャレ塾!」について、10月からの「習い事・塾代助成事業」助成対象拡大を機会に利用促進している。
<p>児童・生徒が将来の夢や目標を持てるよう職業体験や職業講話の取組を実施する必要がある。</p>	<p>職場体験や職業講話の受入れ先と連携し、より多くの児童・生徒が将来の夢や目標をイメージできるような学習内容を提供するとともに、協力企業の拡大を図る。</p>	<p>トップアスリートやキャリア教育講師などの派遣に協力いただける企業リストを作成し、学校での活用を促進している。</p>	<p>職場体験は1学期実施済2校、2学期実施予定1校であり、職業講話は2学期実施予定1校、3学期実施予定2校と計画的に進められている。</p>
<p>児童・生徒が課題解決に向けて積極的に取り組めるよう支援する必要がある。</p>	<p>全ての児童が課題解決に向けて積極的にグループワークに参加するために導入したツールについて、活用の拡大を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・区内8小学校でのロボット「ペッパー」を活用した課題解決学習を実施するとともに、プログラミングに意欲的な児童を対象としたプログラミング教室を冬休みに開催予定している。 ・年間通じたプログラミング教育や「主体的で対話的で深い学び」の計画的実施により、児童生徒の課題解決能力を向上する学校を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボット「ペッパー」を活用した課題解決学習に対し、区役所が各校の実情に鑑み、効果的な授業内容支援を進めている。 ・プログラミング教育等の2学期時点での各校実施状況・課題確認を進めている。

経営課題 3 福祉 【高齢者の見守り】



課題認識	R 6 年度 主な戦略	R 6 年度 取り組み状況	現時点での評価
<p>近隣の高齢者と日常的な関係を築き、生活課題の発見や早期の対応を行うことができるよう見守りボランティアを増やすとともに、その活動をより充実させる必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ このはな地域見守りタイ事業の地域での認知度を向上させ、見守りボランティアの発掘・育成を行う。 ・ 対面でのコミュニケーションが苦手な方であっても継続した見守り活動ができるようこのはな地域見守りタイの見守り活動にICTツール等を用いた手法を検討する。 	<p>【具体的取り組み】 (課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ このはな地域見守りタイのボランティアの数を増やし、その活動をより充実させること → イベント等で地域見守りタイボランティアの活動をPR ・ 「気にかける」地域づくりを推進していくために区社会福祉協議会と協働し「見守り」について周知・広報などを実施 → 連合振興町会に依頼し「気にかける」地域づくりの班回覧を実施したほか、引き続き広く周知を図る。 ・ 見守り活動のスキルアップのためや社会的なつながりが希薄な世帯への支援を強化できるテーマや障がいや障がい者への理解及び児童や学生を取り巻く問題についてをテーマに研修を実施予定 <p>【その他の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般社団法人セーフティネットリンケージと「みまもりあいプロジェクト」に関する協定締結を行う。 	<p>YouTube、ホームページなどを活用し、「気にかけるつながる 支えあう」という「気にかける」地域づくりが実現し、誰もが安心して生活できる状態をめざすため、各種団体等や地元住民に周知を行った。また、新たにICTツールを用い（みまもりあいプロジェクト）、見守る側も見守られる側も活用できるように各種関係団体や区民に広報周知活動を行う。</p>

経営課題 3 福祉 【児童虐待予防】



課題認識	R 6 年度 主な戦略	R 6 年度 取り組み状況	現時点での評価
<p>児童虐待を未然に防ぐことができるよう支援の必要な子どもと保護者を孤立させない取組が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4歳児を中心に無在籍や無登園の子へのアプローチを強化する。 ・学校と子育て支援室との連携を密にし、役割を明確化することで、学校の状況に見合った支援の導入を図る。 	<p>【具体的取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重大な虐待件数0件を維持（令和6年10月31日現在） ・4歳児訪問・見守り支援事業の状況 対象児童数444名 無在籍や無登園の児童への家庭訪問や、保育所・幼稚園への訪問を実施中 ・子どもサポートネット推進員の実績（令和6年4～10月集計分） 電話221件、手紙等30件、家庭訪問88件、区役所で面談等639件 <p>【その他の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育てプラザ、まちづくりセンターと協働し、梅香地域の子育てサロンの再開を支援 ・区社会福祉協議会と協働し、区内のこどもの居場所への情報提供や連携のため、連絡会の立ち上げを行う。 ・区社会福祉協議会と協働し、高見地域のこども食堂開設を支援 ・こどもの居場所や生活に困窮し支援が必要なご家庭や子どもたちへの支援の一環として、ファミマフードドライブを実施 <p>【（参考）大阪市の動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年4月より、こども家庭センターの運営が始まる。 ・令和6年4月10日に「こどもまんなか応援サポーター」の就任を宣言 ・0～2歳児保育料無償化に向けた取り組みを実施 ・こども医療費助成制度の所得制限を撤廃 ・習い事・塾代助成事業の所得制限を撤廃 ・児童手当の制度拡充の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・重大な虐待事案はないが、他区において、親子の心中事案や虐待によるこどもの死亡が疑われる事案などが発生していることから、今後も、こどもや子育て家庭が発するシグナルを注視し、見逃すことのないよう、地域や関係機関との連携を深めていく。 ・こどもの居場所や子育てサロンといった地域福祉の取り組みについて、区社会福祉協議会等と協働して後方支援を行っているが、引き続き、実施していく。

課題認識	R 6 年度 主な戦略	R 6 年度 取り組み状況	現時点での評価
<p>地域活動協議会の更なる活性化を図るため、DXによる地域コミュニティの活性化の促進、新たな担い手の確保（現役世代の参加促進）、NPO・企業・人材等、地域資源の発掘と連携強化及び地活協情報の発信強化を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・DXによる地域コミュニティの活性化やデジタルツールを活用した現役世代の参加促進にかかる支援を行い、地域活動協議会の更なる活性化を図る。 ・地域活動協議会の新たな担い手を確保する地ため、主たる構成団体のひとつである町会の加入促進を図る。 ・地域活動協議会の認知度を向上させるため、イベント等、地域活動の場や広報紙等で周知を行うだけでなく、ICT等を活用し幅広い世代にPRする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT講座 1回 参加者8名 内容：デジタルリテラシーについてほか ・スマホ講座 区役所での開催 13回 参加者 136名 地域での開催 3回 参加者 70名 ・町会加入促進チラシの作成 1町会 ・広報紙による周知 毎月 ・SNS発信 まちセンフェイスブック 31件 まちセン公式ライン 178件 まちセンインスタグラム 35件 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホ講座は概ね順調に開催されているが、現役世代の参加を促進するため、ICT講座だけでなく、今後、Canva（無料で使えるオンラインのビジュアルツールキット）を活用した「地域活動紹介チラシ作成講座」を実施していく。 ・此花区町会加入促進アクションプランの策定を行い、それに基づいた取組を進めていく必要がある。 ・引き続き、SNSを有効に活用し地活協の認知度向上に努めていく。
<p>地域活動協議会による地域課題の解決に向けた取組が進んでいない地域があることから、まちづくりセンターを通じそれぞれの地域特性に即した地域課題を把握し、それに応じた最適な支援を行う必要がある。</p>	<p>地域活動協議会が運営していく上での課題を自律的に解決できるよう、引き続きまちづくりセンターを通じてきめ細やかな支援を行う。</p>	<p>会計説明会の開催 2回 参加者63名</p>	<p>今後、地活協補助金アプリの導入が予定されており、会計説明会などを通じて、地域の会計担当者が円滑に利用ができるよう、きめ細やかな支援が必要である。</p>

ICT講座



スマホ講座



町会加入促進チラシ

町会に入りましょう
いちばん身近な地域の集まりです
西九条第八団町会

縁あって暮らす町を「住み続けたいまち・住んでよかったと思えるまち」に一緒にしていきましょう

ふれあい

3月	梅祭り
7月	西九条神社 夏祭り
8月	地藏盆
12月	歳末夜警

美化運動

安心・安全

防犯夜警、防災訓練
防犯灯、防犯カメラの
管理など安心・安全に
生活ができる活動を
しています

西九条公園、西九条小公園
の美化清掃をしています
波除地藏尊のお世話を
しています
ほげえみ喫茶 毎月
第3日曜日10時より開催

災害など「いざ・もしも」の時 互いに助け合えます
生活に役立つ情報を回覧板で知ることができます
小・中入学・中学卒業祝い、敬老の日お祝い(70歳以上)
地藏尊・お祭りなど楽しい行事の案内があります

問い合わせ先
此花区活動協議会 ☎ 6161-2400

会計説明会



課題認識	R 6 年度 主な戦略	R 6 年度 取り組み状況	現時点での評価
<p>2025大阪・関西万博のご当地として、万博を契機にまちを活性化する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺エリア整備工事について協議会などを通じた進捗の共有を適宜図る。 ・水辺エリア及びその周辺におけるさらなる魅力向上と賑わいづくりを図っていくため、引き続き協議会を通じて官民が連携し具体的な共創施策を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事事業者や協議会事務局と適宜工事進捗等について情報共有 ・令和 7 年 1 月頃に協議会を開催し、進捗を共有予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事事業者や協議会事務局、及び協議会を通じた工事進捗の共有が適宜図られている。 ・水辺エリアについて官民が連携し具体的な共創施策を実施すべく、引き続き協議会等を通じた進捗共有と協議を図っていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・正蓮寺川公園において、令和 5 年度に設置したパブリックアート 2 作品も活用しながら、正蓮寺川公園アートプロジェクトを大いに盛り上げるアートイベントを開催し、区民や地域の方が本プロジェクトへの興味を高め、かつ楽しんでもらうことにより、本プロジェクトの認知度と理解の向上を図る。 ・正蓮寺川公園に「区民との共創」によるパブリックアートを制作・設置するとともに、イベント等により全国に強力に発信することで、本プロジェクト及び万博の機運を大いに盛り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正蓮寺川公園アートプロジェクトを大いに盛り上げるアートイベントを令和 7 年11 月 3 日に開催（1,988千円） ・正蓮寺川公園に「区民との共創」によるパブリックアートを制作・設置しお披露目イベントを令和 7 年 2 月～ 3 月頃に実施予定（22,400千円） 	<ul style="list-style-type: none"> ・アートイベント来場者数 約6,000人 イベントを通じて、多くの来場者がアートプロジェクトを知り、またアートに触れる機会を創出することができた。 ・引き続き、正蓮寺川公園アートプロジェクトの認知度などについて実施効果を検証しながらプロジェクトを進めていきたい。

課題認識	R 6 年度 主な戦略	R 6 年度 取り組み状況	現時点での評価
<p>気候変動など現在、地球環境について考える大きな転換期を迎えていることから、区民ひとりひとりに持続可能な社会の実現に向けて関心を持っていただく取組を行う必要がある。</p>	<p>みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクトの実施地域を拡大する。</p>	<p>ペットボトル循環プロジェクトを拡大するために、未実施地域への働きかけを行っている。</p>	<p>区内の未実施3地域に対し、環境局と連携して働きかけを継続して進めている。</p>
	<p>児童が持続可能な社会の実現に関心を持てるようなコンテンツを学校に提供し、授業等において活用してもらう。</p>	<p>区内で開催するエコ活動行事や生涯学習ルーム活動において、地球環境に関心を持ってもらう体験機会を提供し、啓発を進めている。</p>	<p>年度を通じて、実施（予定）されている行事・活動において、子ども対象の周知啓発とアンケート聴取を進めている。</p>